

全国中学校バドミントン大会 組合せ要領

平成元年8月24日
日本中学校体育連盟バドミントン競技部会にて合意

平成 5 年8月22日一部改定
平成15 年8月20日一部改定
平成22 年8月18日一部改定
平成26 年7月 1 日一部改訂
平成26 年8月21日一部改訂
平成30 年3月23日一部改訂
平成31 年3月26日一部改訂

1. 第1～4シードを前年度実績の同一ブロックの上位より決定する。
第3シードは、優勝者に負けた3位をあてる。
但し、同一ブロックが同一ゾーンに入ることはない。また、同一ブロックが、同一ゾーンのシードに入るような場合は、第3、4シードを入れ替える。
2. 以下は同一ブロックが各ゾーンにバラツクように配慮し、すべて抽選により決定する。
抽選方法は次による。
 - (1) シードに入ったブロックで参加校の多い順に決めていく。
 - (2) 次に、シードに入っていないブロックで参加校の多い順に決めていく。
 - (3) 開催地は該当するブロックに含む。
 - (4) 同一ブロック内は、上位ランクから決めていく。
 - (5) 最初に全体を2つのゾーンに分け、どちらかを決める。
 - (6) 奇数参加チーム、選手が一方のゾーンに偏らない配慮をしていく。
 - (7) そのゾーンを更に2つに分け、どちらかを決めていく。
 - (8) シード以外のゾーン分けが全て完了後、位置決めを行う。(ゾーンごと)
 - (9) ゾーン内のチーム、選手を抽選で順番を決める。
 - (10) 若い番号のチーム、選手から再度抽選を行い、引いた番号を組合せ表の位置の番号と合わせ、組合せ表を埋めていく。
 - (11) 第1～4シードに入らなかったブロック1位は第5～8シードに入れる。さらに、残りのブロック1位を第9～12シードに入れる。
 - (12) 個人戦の1回戦目には各ブロック順位の低いランクを入れる。
 - (13) ブロック1位同士は1回戦の対戦は避ける。また、前年度大会の1回戦で対戦した同一チーム並びに同一選手との対戦も避ける。
 - (14) 各ブロックの出場数は下記の通りとする。() は個人戦の数。

北海道	2 (4)	東北	3 (4)	関東	4 (6)
北信越	2 (3)	東海	2 (3)	近畿	3 (4)
中国	2 (3)	四国	2 (3)	九州	3 (4)
開催地	1 (2)				
					合計24 (36)